

No.1-8

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 01 - 8

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日 28年 5月 23日			
事務事業名		定員管理事務				シート作成部署			
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち				課名	総務課	係名	人事係
		6-4 行財政運営の充実したまちをつくる				シート作成者			
	主要施策	6-4-1 町民サービスの向上				予算費目	会計	一般	
		② 行財政改革の推進					款	2	
				項	1				
				目	1				
個別計画名									
住民との関わり		特になし							
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）						
	職員 採用試験受験者		事務事業を効果的かつ効率的に遂行するために必要な職員を適正に配置する。また、これからの時代を担う知識と能力を持った優秀な人材を採用していく。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		職員定数については、合理的な組織・機構の編成と、事務事業全般にわたる行政関与の必要性、住民相互の行政サービスの負担と公平性の確保及び行政効率等を十分に検討し、定員の適正化を確実に推進する。							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等		地方公務員法							
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B		621		748		758			
財源内訳	国庫支出金	0		0		0			
	県支出金	0		0		0			
	地方債	0		0		0			
	その他特定財源	0		0		0			
	一般財源	27		22		32			
直接事業費（千円）A		27		22		32			
人件費（千円）B		594		726		726			
内訳	一般職員（人・千円）	0.09 人	594	0.11 人	726	0.11 人	726		
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
成果指標	成果指標名		単位	27年度		28年度	29年度		
				目標	実績	（目標）	（目標）		
	①	年次別目標職員数	人	200	211	210	210		
	②								
③									
説明	平成27年度は211人となり目標より11人増となった。しかし、地方分権の進展により多様化する住民ニーズ等に対応するためには、定員数の見直しが必要である。（H26, 27年度目標値は総合計画より）								

事業名		定員管理事務		シート作成課		総務課		
一次評価者		総務課長		二次評価者		総務部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	厳しい経済状況の下、限られた経営資源の中で最小の職員数で最大の効果をあげる必要があります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	少数精鋭による効果的な行財政運営に努めています。次代の町行政を担う人材の確保を図っています。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	選考試験により優秀な人材を確保に努めています。また、時代に適した組織の改編を行いました。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	県町村会の試験問題を活用し事務遂行能力を確認するとともに、面接試験等を工夫しながら人物重視の採用を実施しています。	
本事務事業の実施適切性の説明								
職員の大量退職を迎えており、事務事業にあわせて適正な職員数の確保に取り組んでいます。また、適切な職員採用を実施しています。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	(8) B	(8) A	
						(7) D	(8) C	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
今後の改革・改善目標	適正な定員管理とともに、より良い人材の採用を図るため、職員採用試験においては、これまでの筆記試験、面接試験だけでなく、適性検査、職場対人適応性検査、性格診断検査等更に面接前の協同作業ゲームも併せて実施し、住民のニーズに即した知識と能力を持った人材の採用に努めます。また、その時々に応じて職員定数を見直す事も必要であると考えます。また、再任用と新規採用のバランス調整を図ります。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	(8) B	(8) A	
						(7) D	(8) C	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
コメント	各所属の業務量等を把握し、計画的な職員の採用と、より優秀な人材を確保し、時代に即応した組織作りが必要と考えます。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				